

令和5年度（2023年度）

熊本市献血推進協議会 資料



日 時：令和5年（2023年）11月9日（木）14時～

場 所：ウェルパルクまもと 4階会議室

議題1 令和4年度（2022年度）献血推進事業報告

議題2 令和5年度（2023年度）献血推進事業計画

議題3 各団体の献血推進活動等について

《参考資料》 献血の実施等について

別紙1 熊本市の献血量及び献血者数の推移

別紙2 熊本市の年代別献血者数の推移

別紙3 熊本健康アプリ「もっと健康！げんき！アップ くまもと」
の献血ポイント付与等の実績の推移

別紙4 各団体の近年の献血推進活動状況

令和4年度（2022年度）献血推進事業報告

議題 1

1 熊本市献血推進協議会

開催日時：令和4年12月8日（木）14時30分～

場所：熊本市役所本庁舎 7階会議室

出席者：委員7名・熊本県赤十字血液センター関係者・熊本市保健所
医療政策課職員

議事録は熊本市ホームページに掲載

2 普及啓発

（1）校区・地区献血の推進

- ・町内自治会等を通じて、校区・地区献血のポスター掲示及び各家庭へチラシ回覧を依頼。令和4年度は11校区、5地区で23回実施。
- ・熊本市ホームページに献血啓発記事の掲載。
- ・熊本市公式ラインによる広報（令和5年1月～）

（2）一般市民への普及啓発

市政だより（令和4年5月号）

市政だより（令和4年5月号）

ゴールデンウィーク中の 献血に協力を

場 日赤プラザ献血ルーム（東区長嶺南2丁目1-1 ☎384-6727）、下通り献血ルームCOCOSA（下通NSビル5階 ☎325-9218）**内** 病気の治療や手術に使用する血液製剤が不足しています。血液製剤を作るには、常に多くの方からの献血が必要です。協力をお願いします

詳しくは、県赤十字血液センターホームページへ。

（医療政策課 ☎364-3186）

骨髄等移植のドナーへの 助成を始めます

患者に骨髄等を提供する方（ドナー）は、提供時には骨髄等採取のための入院や、検査、自己血採取などの準備のための通院が、7日間程度必要です。そのため、休業による経済的な負担等から提供を辞退されるドナーも少なくありません。本市ではドナーの負担を軽減すること等を目的として、日本骨髄バンクを介してドナーとなられた方に助成金を交付します。

【助成額】1日2万円（上限：14万円（7日分））

（医療政策課 ☎364-3186）

市政だより（令和 5 年 1 月号）

市政だより（令和 5 年 2 月号）

献血にご協力を

冬は献血者数が減り血液が不足する季節です。血液製剤には有効期限が採血後4日間と非常に短いものもあり、常に多くの方の献血が必要です。ご協力をお願いします。

期 県赤十字血液センターホームページへ **場** 日赤プラザ献血ルーム（☎384-6727）、下通り献血ルームCOCOSA（☎325-9218）

（医療政策課 ☎364-3186）

臓器移植について

日本での臓器移植希望者は約15,000人ですが、実際に移植を受けられるのは年間およそ400人です。現在は、本人の臓器提供の意思が不明な場合でも、家族の承諾があれば臓器提供ができます。

臓器提供意思表示カードは、市の施設やその他医療施設などに置いてあります。運転免許証や健康保険証、マイナンバーカードにも臓器提供意思表示欄があります。日頃から臓器提供について家族で話し合い、意思を伝え合っておくことが大切です。

（医療政策課 ☎364-3186）

・FM 熊本ラジオ放送「フレッシュ・フラッシュ熊本」

	放 送 日	内 容
1	令和 4 年 4 月 1 9 日（火）	ゴールデンウイーク中の献血のお願い
2	令和 4 年 7 月 2 6 日（火）	献血のお願い 校区献血等について
3	令和 4 年 8 月 2 3 日（火）	臓器移植について
4	令和 4 年 1 0 月 1 8 日（火）	骨髄バンク推進月間について
5	令和 4 年 1 2 月 1 3 日（火）	献血のお願い

・普及啓発キャンペーン時のポスター等を市関係施設（熊本市役所本庁舎・各区役所・まちづくりセンター等）へ配布

キャンペーン内容	実施内容	キャンペーン期間
令和 4 年「愛の血液助け合い運動」	ポスター掲示	令和 4 年 7 月 1 日 ～7 月 31 日
令和 4 年「はたちの献血キャンペーン」	ポスター掲示	令和 5 年 1 月 1 日 ～2 月 28 日

令和4年「愛の血液助け合い運動」

令和4年「はたちの献血キャンペーン」



(3) 高校生への普及啓発

例年、献血者数が減少傾向にある若年層への献血意識向上のため、市内高等学校へ献血セミナーの実施や保健体育授業内での啓発と高校献血を血液センターと連携して働きかけていたが、令和4年度は昨年度に続き新型コロナウイルス感染拡大の影響で未実施。

○近年の実績：令和元年度2校、平成30年度2校、平成29年度3校

(4) その他普及啓発

スマートフォン専用アプリ「熊本健康アプリ もっと健康！げんき！アップくまもと」と連携し、普及啓発を後押し。アプリ登録者数が増えていることもあって、献血による健康ポイント付与件数も増えており普及啓発ツールとして今後も活用。アプリの登録者数や献血ポイント付与件数の推移は、別紙3のとおり。

(5) 各団体の近年の献血推進活動状況（概要）

各団体の近年の献血推進活動状況の概要は、別紙4のとおり。

令和５年度（２０２３年度）献血推進事業計画

議題２

１ 熊本市献血推進協議会

日 時：令和５年（２０２３年）１１月９日（木）１４時～

場 所： ウェルパルクまもと ４階会議室

２ 普及啓発

（１）校区・地区献血の推進

- ・町内自治会等を通じて、校区・地区献血のポスター掲示及び各家庭へチラシ回覧を依頼。令和５年度は１６校区、３地区で２３回計画。
- ・熊本市ホームページおよび熊本市公式ラインによる献血啓発記事の掲載。

（２）一般市民への普及啓発

- ・市政だよりへ啓発記事の掲載。
- ・ラジオ広報として、FM 熊本ラジオ放送「フレッシュ・フラッシュ熊本」にて献血協力依頼などの内容を放送。
- ・市職員専用電子掲示板へ、献血協力依頼や啓発等の内容掲示。
- ・普及啓発キャンペーンのポスターや冊子等を、市関係部署や区役所、まちづくりセンター等の施設へ設置。
- ・新たな情報発信方法の検討

（３）高校生への普及啓発

- ・献血者数が減少傾向にある若年層への献血意識向上のため、市内高等学校へ献血セミナーの実施や保健体育授業内での啓発と高校献血を血液センターと連携して実施。

（４）その他の普及啓発

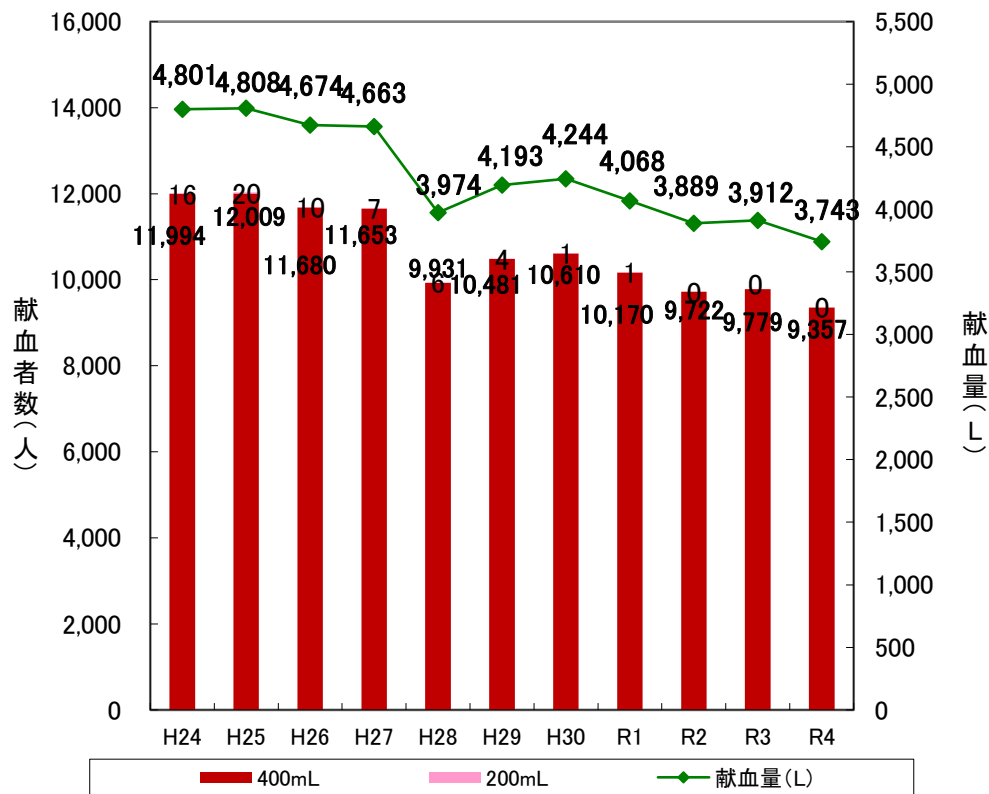
- ・引き続き、スマートフォン専用アプリ「熊本健康アプリ もっと健康！げんき！アップくまもと」と連携し、普及啓発を後押し。

(1)熊本市の献血量及び献血者数の推移

(移動採血車による献血のみ)

別紙1

年度	目標数(人)	献血者数		目標に対する割合	献血量(L)
		400mL	200mL		
H24	14,875	11,994	16	80.6%	4,801
H25	14,896	12,009	20	80.6%	4,808
H26	14,677	11,680	10	79.6%	4,674
H27	14,308	11,653	7	81.4%	4,663
H28	13,442	9,931	6	73.9%	3,974
H29	12,484	10,481	4	84.0%	4,193
H30	12,094	10,610	1	87.7%	4,244
R1	11,810	10,170	1	86.1%	4,068
R2	12,005	9,722	0	81.0%	3,889
R3	12,584	9,779	0	77.7%	3,912
R4	12,411	9,357	0	75.4%	3,743



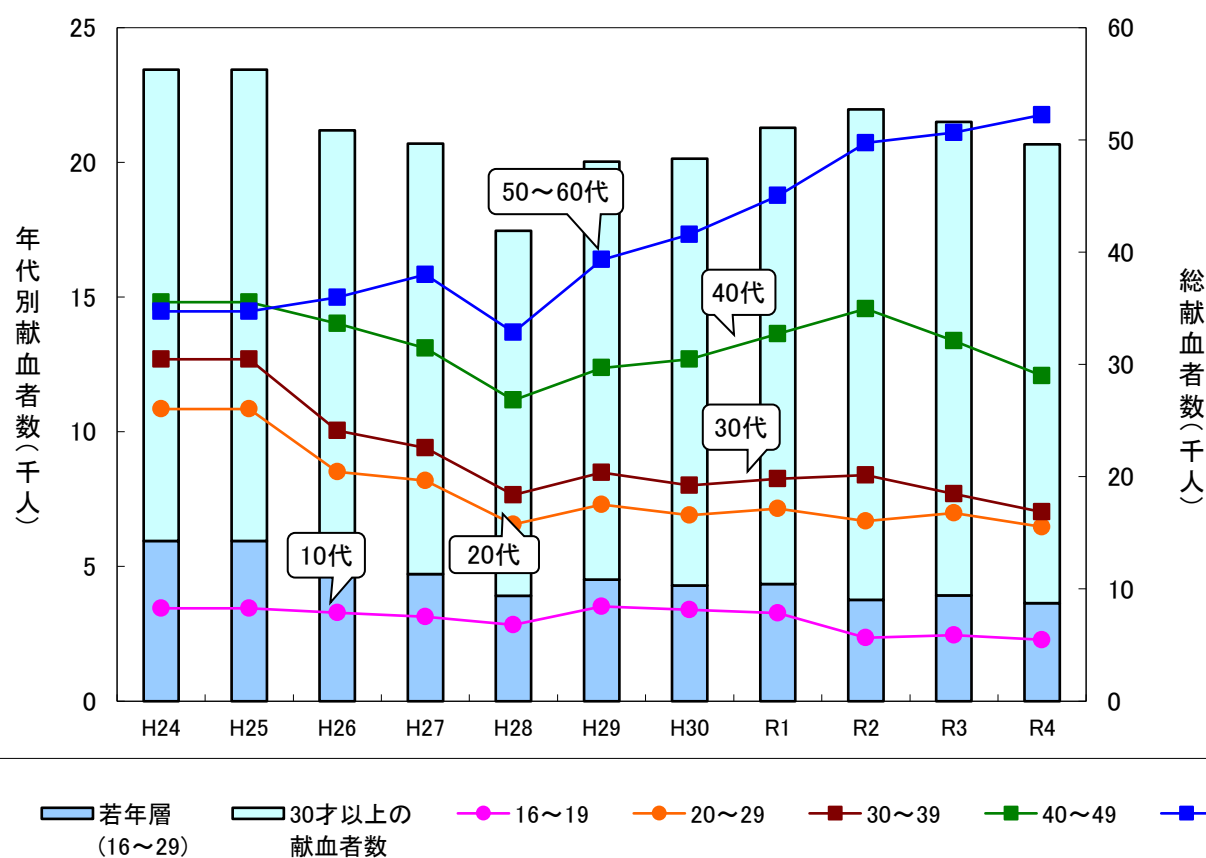
令和4年度の目標献血者数は、12,411人であったが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、移動採血車による校区献血や地区献血等の中止が多数発生したため、目標達成とはならなかった。また、そのような状況においても、献血者数(献血量)としては大きく減少していることはなく各団体の活動の成果が表れている。

(2) 熊本市の年代別献血者数の推移

別紙2

(200mL献血・400mL献血・成分献血、移動採血車・固定ルームすべて含む)

年齢区分	16～19才	20～29才	30～39才	40～49才	50～69才	合計	対前年度	
						(総献血者数)	増減数(人)	増減率(%)
H24	3,446	10,846	12,693	14,812	14,471	56,268	▲ 635	98.88%
H25	3,885	10,316	11,005	13,689	13,426	52,321	▲ 3,947	92.99%
H26	3,287	8,517	10,051	14,021	14,991	50,867	▲ 1,454	97.22%
H27	3,130	8,193	9,400	13,099	15,841	49,663	▲ 1,204	97.63%
H28	2,835	6,557	7,650	11,172	13,693	41,907	▲ 7,756	84.38%
H29	3,519	7,304	8,494	12,373	16,388	48,078	6,171	114.73%
H30	3,392	6,909	8,011	12,691	17,319	48,322	244	100.51%
R1	3,278	7,153	8,250	13,640	18,764	51,085	2,763	105.72%
R2	2,360	6,689	8,398	14,566	20,725	52,738	1,653	103.24%
R3	2,458	6,981	7,700	13,379	21,105	51,623	▲ 1,115	97.89%
R4	2,282	6,472	7,022	12,084	21,765	49,625	▲ 1,998	96.13%



・令和4年度の熊本市の総献血者数は、49,625人で、前年度に比べ1,998人、3.87%減少した。
 ・年齢階級別にみると、「40～49才」は12,084人で、令和2年度と比較すると17.0%減少しており、減少率が最も大きい。仕事のため、献血に行く時間が取れないことや新型コロナウイルスの6波、7波の影響のため減少したことが考えられる。
 ・新型コロナウイルスの影響としては、ワクチン摂取した後や感染者に対して採血の制限の期間があったことから、総献血者数の減少につながった一因と考えられる。
 ・今後も、継続的な献血者確保のため、加えて、若年層への献血意識向上などの啓発活動を実施していくことで、更なる結果が得られると期待される。また、20代、30代の献血者数の回復も必要である。

*1 新型コロナ感染症のワクチンを接種者への対応(採血制限の期間)

- ・ノババックス 24時間以内
- ・ファイザー、モデルナ 48時間以内
- ・アストラゼネカ 6週間以内

*2 新型コロナウイルス既感染者等の 採血制限について

新型コロナに感染しても、症状消失後4週間経過すれば献血可能に

2 熊本健康アプリげんきアップくまもとの献血ポイント付与等の実績の推移(R4.9.30現在)

熊本健康アプリはR2.7.1から開始。データは熊本市民分のみ。

年度		3か月毎に集計			年度毎に集計		
		登録者数(人)	献血ポイント付与人数	献血ポイント付与件数	献血ポイント付与人数	献血ポイント付与件数	
R2							上限: 年1回まで (1回付与/人) (3月のみ休止) 計8か月間
	9月末	25,247	225	225			
	12月末	28,986	131	131			
	3月末	30,597	84	84	440	440	
R3	6月末	33,470	271	395			上限: 年3回まで (1～3回付与/人) 計12か月間
	9月末	38,289	159	318			
	12月末	40,292	92	207			
	3月末	42,653	184	312	706	1,232	
R4	6月末	44,239	192	367			上限: 年3回まで (1～3回付与/人) 計12か月間
	9月末	45,799	127	276			
	12月末	47,602	65	172			
	3月末	49,364	174	294	558	1,109	
R5	6月末	51,602	297	533			上限: 年3回まで (1～3回付与/人)
	9月末	53,281	162	348			
	12月末						
	3月末				459	881	

- ・令和4年度末において、558人(献血1回)そのうち、340人(献血2回)、211人(献血3回)に複数回献血協力いただいた。
- ・熊本健康アプリの普及が進み登録者数が順調に増え、令和4年度末現在の献血ポイント付与件数は、前年度よりわずかに減少したものの、健康づくりを楽しみながら献血にもご協力いただけていることが数字に表れている。
- ※アプリを退会したユーザー等がいるため、昨年度資料の数字に修正あり

●熊本健康アプリげんきアップくまもとについて



・スマートフォン専用アプリ「もっと健康! げんき! アップくまもと」は、「各種検診の受診」や「歩く」など、日々の健康づくり活動を行うことでポイントが付与され、ポイントが貯まると特典を受けることができるアプリである。

・献血(いずれか1つ受診により40ポイント付与)【上限3回まで】

※400mL、200mL、成分献血

※令和3年度から年1回から年3回まで増えた。

3 各団体の近年の献血推進活動状況(概要)

令和4年度の実績および、今後の取り組みについて

別紙

団 体 名	献 血 推 進 活 動 状 況
熊本市医師会	・各医療機関に対し献血会場としての場所の提供や人的サポートに協力するよう働きかけ。 ・市医師会・ヘルスケアセンター等会員に対し献血協力の呼びかけ・周知を実施。 ・市医師会(会館)は本荘校区の献血の会場として提供するなど協力。 ・市医師会本館を本荘校区の献血会場としての場所の提供と職員や看護学生の献血協力実施予定。(令和6年2月予定)
熊本商工会議所	・会員に対し献血を広報(会報誌・ホームページ等)し、企業献血の実施や献血会場としての場所の提供や人的サポートに協力するよう呼びかけ。(新型コロナの影響で、店舗を開けないなど企業活動が制限され、献血活動には苦労している。)
熊本キャススライオンズクラブ	・移動採血者が出向いたそれぞれの会場と連携し、献血よびかけ活動などを実施。 ・ミセスオブイヤーとタイアップし、下通り献血ルーム前で出場者と献血呼びかけ活動を実施。 ・高校献血に力を入れており、継続的に依頼活動を実施。 ・ライオンズクラブ主催の献血活動を実施。 ・若年層を対象にした久留米の血液センターの見学会を実施。
熊本市地域献血推進連合協議会	・校区献血協力者に対する啓発品として、令和5年3月からオリジナルスナックを配布開始。絵柄を若年層向けにした協議会オリジナルクリアファイル4種類と選択性で配布。また、これを下通COCOSA、日赤プラザでも配布し啓発にも努めている。 ・若年層の普及に向けて、熊本市公式ラインによる献血の日程の案内を開始。 ・校区献血を多くの校区(22校区・地区)で継続的に実施。 ・令和5年度は、新型コロナの影響等で中止になっていた校区(碩台、田迎・田迎西、御幸、花園、城山校区)が再開した。本荘校区も令和6年2月に再開に向けて取り組んでいる。 ・地域献血活動の積極的な推進を図るため、多大な実績のあった校区・地区を表彰。
熊本市地域婦人会連絡協議会	・毎週月曜、下通献血ルーム前で献血呼びかけ活動。 ・血液センターの献血ルームで渡すプレゼント作りの作業の手伝い。 ・校区献血の手伝い(啓発活動)。
熊本市社会福祉協議会	・地域住民の献血意識向上を目的とし、熊本市地域献血推進連合協議会の助成金の交付。 ※日本赤十字社熊本地区本部 ・地域の福祉事業をサポートしており、社会福祉協議会関連施設での献血推進ポスターの掲示、啓発冊子の設置。
熊本県学生献血推進協議会	・学内献血(大学へ献血バスを配車し、学校で行う献血のこと)を学生が主催して各大学でそれぞれ実施。 ・各大学で学生向け献血に関するセミナーを開催。 ・献血に関する知識の向上や啓発の重要性について理解を深める研修の実施。 ・献血ルームでの作業補助を研修も兼ねて体験。 ・全国学生クリスマス献血キャンペーンの実施。 ・愛の助け合い運動、はたちの献血活動、「ラブラット(献血WEBサービス)の登録会」などのイベント実施、呼びかけ活動。 ・令和5年7月の愛の血液助け合い運動キャンペーン時に、佐世保学生献血推進協議会とコラボイベントの実施(下通り献血ルームに来ていただいた人に七夕の短冊を記入してもらう)。 ・令和5年12月の全国学生クリスマス献血キャンペーン時に、大分県学生献血推進協議会とコラボイベント予定。